

第3回吹田市立武道館指定管理者候補者選定委員会 議事要旨

1 開催日時 令和7年11月4日(火) 開会 午後6時 閉会 午後8時

2 開催場所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室

3 次第

- (1) 選定方法の確認、事前評価の共有等
- (2) 応募者による事業計画書等の説明、質疑応答
- (3) 応募者の評価
- (4) 指定管理者候補者の選定、答申

4 出席委員 大島 博文 委員長 (大阪成蹊大学 経営学部教授)
橋爪 真 副委員長 (大和大学 政治経済学部教授)
柳瀬 真佐子 委員 (NPO 法人市民ネットすいた 理事長)
迫田 泰江 委員 (吹田市社会体育リーダー協議会 副会長)
颯田 恵子 委員 (近畿税理士会 吹田支部)

5 欠席委員 なし

6 公開・非公開の別 非公開・公開

理由：吹田市審議会等の設置及び運営に関する指針の第9項第2号及び吹田市情報公開条例7条第3号及び第4号の規定による。

7 会議進行

(事務局) 【選定方法、事前評価について説明】

(委員長) 吹田市立武道館指定管理者候補者選定に際し、採点表に記載の選定基準(3)評価項目ウの「安定的な管理運営が可能な財政的基盤」について決算報告書等の内容に関して委員より意見をいただきたい。

(委員) 提出のあった収支計画書及び財務諸表より、自己資本比率や当期純利益などの数値を見たとうえで資金繰りや会社の健全性については問題ないものと判断する。

(委員長) 今の解説を聞いて委員の皆様は採点いただきたい。

(委員) 項目ごとに聞き取りを行うというのではなく、他の項目にも関わる内容の質問にはなるが、気になった点について質問を行いたい。

(委員) 事業計画の内容や管理体制など様々な角度で質問するのでいいのではないか。

(委員) 質疑応答については、15分程度なので時間配分に気を付けながら質問したい。

【応募者入場】

- (応募者) 事業計画書等の説明
- (委員) 利用促進にあたって、利用者数の目標は定めているか。
- (応募者) 武道場や弓道場については利用枠や対象が武道に限られているが第三武道室は武道に限らず利用できるため、武道以外の利用者を増やしていきたい。現時点で具体的な目標については定めていないが、管理運営するなかで上積みできるよう計画を立てていきたい。
- (委員) 市の公共施設として市民参加や参画などが施設運営には欠かせないが、担い手の育成や繋がりづくりはどのように考えているか。
- (応募者) 現在吹田市内の他施設の運営においても利用者懇談会を実施し、利用者や利用団体から意見を聞いている。武道館でも同様に実施できればと考えている。
- (委員) 施設運営にあたり、他施設や他団体との繋がり部分はどのように考えているか。
- (応募者) 市民が一緒に取り組んでもらえるようなボランティアや、以前食堂として使用されていた場所が空いているので、コミュニティの場として開放するなど検討している。
- (委員) 収支計算書について、委託料はどのような内容か。
- (応募者) 清掃業務や警備業務、メーカーで点検が必要となるようなところを委託料としている。
- (委員) 現在実施している教室や種目については、利用者が混乱しないように継続的に実施することであるが、雇用についても現在働かれている方を継続雇用する予定か。
- (応募者) 継続雇用については、指定管理者に選定されてから現場のスタッフと話し合いを行い、決めていきたい。
- (委員) 他の施設との繋がりについてどのように考えているか。
- (応募者) 吹田市内の複数施設を管理していることから、情報共有や協働は前向きに検討している。また、吹田市体育協会とも他施設で一緒に仕事をした実績もあることから協力体制を構築し吹田市にとってプラスになるよう取り組んでいきたい。
- (委員) 研修については具体的にどの程度実施予定か。
- (応募者) 職員研修については、年間でスケジュールを組んで実施しており、人権研修やセミナーについても積極的に参加し研修終了報告を提出してもらっている。

【応募者退場・委員による採点】

— 暫時休憩 —

【採点結果集計表配付】

- (事務局) 【各委員が採点した合計評価点数の平均が60点以上であったため、指定管理者候補者となる基準を満たしていることを報告】
- (委員長) 本選定委員会として、採点結果に基づき「南海ビルサービス株式会社」を指定管理者候補者とすることに異議はないか。
- (全委員) 異議なし。
- (委員長) 指定管理者候補者として異議なしとのことだが、答申に際して意見を付けるか。

(全委員) 意見なし。

— 答申書手交 —

8 その他事務連絡

事務局から今後の予定について説明

9 閉会